

おはようございます。日本維新の会、安浪です。

質問も3日目となり、大変お疲れでしょうが、最後まで宜しくお願いします。

今回は、あま咲きコインと観光における落第忍者乱太郎の活用について、お聞きしたいと思います。

まず1点目、あま咲きコインについて、お聞きします。

みなさんもお存知の通り、コロナ禍によって市内の商業者の売り上げが大打撃を受ける中、あま咲きコインは、キャッシュレス化を推進し、地域経済の好循環を図ることなどを目的に令和2年度から取組を続けています。当初は認知度が低く、使い勝手が悪いと言ったこともあり、私はこれまで何度か質問をしてきました。特にキャッシュレスと言うのは、高齢者にはとっつきにくく、アプリと言ってもピンとこないと感じておりました。カードでの対応もしているということでしたが、高齢者にもわかりやすいよう丁寧に対応する必要があるのではないかと指摘をさせていただいております。

そう言った中、様々な改善を重ねながら、令和6年度で5年目を迎え、市民の皆さんの中に浸透しつつあるようです。しかしながら、この事業の目的にある、地域経済の好循環と言うところはどうなっているのかも、しっかり検証する必要があります。

そこでお聞きします。

この 5 年間の取組で流通額は大きく増加しているようです。改めてお聞きしますが、取組の初年度の令和 2 年度と令和 5 年度とを比較すると、どの程度、流通額は増えているのか、お答えください。

また、市内商業者にとっての身近なものになっているのかどうかの確認もしたいと思います。

そこでお聞きします、

あま咲きコインは、市内商業者に対してどの程度浸透しているのでしょうか。市内商業者に対する割合ではどの程度普及してるのかお答え下さい。

次に、あま咲きコインの取組による効果についてです。流通額は大きく増えているようですが、中々見えないのがその効果です。実際に効果が見えないと、多額の税金を投入していても意味がなくなります。この事業の目的には地域経済の好循環が掲げられていますが、その効果がどの程度あったのかが分かりにくいと前から思っています。

地域経済を支えているのは、言うまでもなく地域の商店街です。市内の商店街にとって目に見える形での効果あったのでしょうか。

そこでお聞きします、

市内商店街に対してどのような効果があったのか、お答え下さい。

私の地元は立花ですが、この地域にも元気な商店街があります。これらの商店街でもあま咲きコインが使える店がいくつかありますが、ここでどの程度あま咲きコインが普及しているのか大いに気になるところです。

そこでお聞きします、

例えば、立花商店街でどの程度の売り上げがあって、どれだけの商店で使えるのかについて、把握されていますか。その内容を可能な範囲でお答え下さい。

また、あま咲きコインについて、実際のところ、商店街の皆さんはどのようにお考えなのでしょうか。

そこでお聞きします、

商店街からは、どのような意見が出ているのか、あわせてお答え下さい。

続いて、落第忍者乱太郎の活用についてお尋ねします。

この、8 月に会派視察で東京の品川区に行ってきました。品川は観光の目玉に、品川の名前からシナモンと言うキャラクターを観光のキャラクターに使っておられます。シナモンはサンリオのキャラクターでビラや案内のチラシの端っこにシナモンを入れると区民の皆さんが多く手にとって、持っかえってくれるそうですし、同じ商品で少し値段を多額してもシナモンが印刷されると売り上げが上がる、いろんな物とコラボを考えています。

と担当者は熱く語っておられました。

そんな話を聞きながら、尼崎にとって落第忍者乱太郎のもつ、大きな可能性をシナモンの話に重ねて聞いておりました。

落第忍者乱太郎は、尼崎の地名にちなんだ固有のキャラクターです。多くのキャラクターがいます。忍たま乱太郎と言うアニメが NHK で放送されてることもあり知名度も高く、活用しない手はないと思います。例えば、私の地元になんだ、立花仙蔵は、忍者の学校である、忍術学園で一番冷静かつ優秀な生徒です。特に火薬は自作する程の知識をもち、得意武器である火薬を用いた武器、ほうろく火矢を駆使して与えられ任務を完璧にこなす、と紹介されています。

このような落第忍者乱太郎の豊富なキャラクターは、尼崎の活性化に欠かせない大きな強みであると確信しております。そう考え、6 月議会で観光施策の一つとして、マンホールの活用事例について、お尋ねしました。乱太郎のマンホールについては、数年前に前迫議員も質問されています。おそらく、乱太郎のもつ可能性何年も前から感じておられたのだと思います。しかし、色々と問題があるとのことで、検討をする、とのことでしたが、これから

どうなるのかがまだ、分かりません。

そこで、今回は観光施策の観点で質問をしたいと思います。

観光の取組は、尼崎城や阪神尼崎駅での事業や阪神 2 軍球場の開設など様々な取組を進められていますが、その目玉か今一つ見えてきません。

そこでお聞きします、

この落第忍者乱太郎と言う大きな強みを活かして、これを観光の目玉にする、お考えはあるのか。その場合、どのように取り組もうとしておられるねのか、お答え下さい。

これから尼崎の観光を盛り上げていくには、こうした強みを活かした取組を一層強化し、大阪、関西万博と言う絶好の機会をとらえて、効果的な取組を進める必要があります。海外からも本市に多くの外国人の方がこられることも認知度を上げる大きなチャンスです。

そこでお聞きします、

今後、落第忍者乱太郎を本市の観光において、どのように活用しようと考えているのか、具体的な活用策をお聞かせ下さい。

6月末に開明庁舎にオープンした、尼子騒兵衛漫画ギャラリーや落第忍者乱太郎のグッズを販売といった新たな取組もやっている中で、北は北海道から南は沖縄まで国内はもとより、海外からも来られているなど、とても好評であるとのことですが、今後も引き続き、尼崎の活性化に向けて、本市の強みである落第忍者乱太郎を大いに活かした取組を進めていただきますよう、お願いします。なお、あま咲きコイン、乱太郎については、尼崎にとって大切な事柄と思い、これからも引き続き、質問をして行きたいと思います。

これで、私の質問をおわります。

ご清聴ありがとうございました。